福生三中だより

令和7年6月30日発行 No.3

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節

第52回体育祭

スローガン「気炎万丈 ～ You can do it ～」

校長 増木 一 仁

5月24日に開催しました第52回体育祭では多くのご来賓、保護者、地域の方々にご観覧いただき誠にありがとうございました。おかげさまでスローガン「気炎万丈」のもと、三中生の意気込みが校庭一杯にひろがる体育祭にできました。

今回の体育祭でも、「勝利を目指して一人一人が頑張ることはもちろんのこと、みんなが「やってよかったと思える」体育祭にしてほしい。運動が得意な人もいれば苦手な人もいます。運動が得意な人は、他の人以上に頑張るとともに、苦手な人に励ましの声をかけて一緒に頑張ってもらいたい。苦手な人は自分のできることを精一杯頑張る。みんなで励まし合いながら、支え合いながら頑張ってもらいたい。」ということを生徒に伝えてきました。

この「みんなで協力し、励まし合い、称え合うこと」は、キャリア教育としても大切なことだと思います。社会に出て、自立した一人の人間として必要な資質であります。

キャリア教育（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」）

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

現在、各学年の様々な行事の学習が始まっております。これらの取組でもキャリア発達を促していきたいと思っております。※キャリア教育については次号でもう少し詳しく伝えさせていただきます。

また6月は「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」でもあります。本校の「学校いじめ防止対策基本方針」では以下のように定めてあります。（全文は学校HPに掲載）

2 いじめの防止についての基本的な考え方

いじめは人間として絶対に許されない、人権に関わる重大な問題である。生徒は、学校という小さな社会の中で様々な人と接する。つまり、どの生徒も被害者にも加害者にもなりうる可能性があり、教職員が日頃から些細な予兆を見逃さないように努め、学校全体で組織的に対応していく。

また、学校は生徒が友人や教職員との信頼関係の中で、安心して安全に生活できる場になるよう、思いやりやいたわりをもった集団が形成され、仲間と共に人間的に成長できる学校づくりを進める。

今後も保護者や地域の皆さんと共に、誰もが安全で安心して過ごせる学校づくりに努めてまいります。生徒のことで気になる様子などありましたら、いつでも学校までご連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。（裏面割愛）